

しぜんきょうしつ ひろ 自然教室に広がる

はる けしき 春の景色！

三浦だより

第208号

自然教室の様子

(125)

発行者
清泉小学校
自然教室

シロツメグサ



ツクシ



フキノトウ



オランダミミナグサ



カラスノエンドウ



朝方は冷え込むものの日が昇ると春のように暖かくなります。何度か紹介しましたが今年は暖冬だったため自然教室ではすでに春の草花が広がっています。第2駐車場前に昨年より2週間も早くツクシが顔を出してきました。

この後葉っぱともいえるスギナも出てきますが、ツクシと土の中でつながっています。冬の間も畑の畦で葉を茂らせ、子ども達が四つ葉を探していたクローバーの別名があるシロツメグサも白い花を咲かせています。丸い形をしていますが、小さい花が集まったもので本来は4月後半に咲き始めます。畑の畦にはオランダミミナグサも生えています。葉の形がネズミの耳に似ているミミナグサの仲間です。一ロッパ原産の帰化植物です。205号で紹介したフキノトウは、大量に顔を出し、花が咲き始めています。畑の畦にはカラスノエンドウもツルを伸ばしています。自然教室ではまだ葉だけです、三浦海岸駅からの坂の途中には、赤紫色の花がすでに咲いています。